

STEP 1

経営継承の必要性の確認

経営継承を円滑に進めるためには、最低でも3～5年が必要となる場合が多く、
早く準備に着手することが何よりも重要です。

はじめの一步は、あなた自身が経営継承の必要性を認識することです。

経営継承は、単に経営者を交代すればよいというものではありません。

後継者の育成、経営の磨き上げ、更なる経営発展などの契機でもあります。

農業経営はずっと続いていくものですが、ヒトには寿命があり、健康状態が万全な期間は更に短いものです。

あなたが気力・体力とも充実している、いまこそ、
経営継承に向けて取組を開始することをお奨めします。



..... 廃業を決断する前に

親族や従業員等の後継者が見つからないなどの理由で、経営継承に着手しない場合、将来的に廃業することになります。廃業は時間と労力がかかりますし、経営継承に比べて資産を有効に活用できないため、一般的にコストも高くなります。
廃業を決断する前に、第三者への経営継承を検討することをお奨めします。
その際には、支援機関などに早めに相談しましょう。



STEP 1

経営継承の必要性の確認

次の設問1～3の中から当てはまる項目を選び、【 】から該当する内容を選択し、年月も記入してください。各質問に、はい・いいえで回答してください。

設問 1

私には後継者【 親族 ・ 従業員 ・ その他 】がいる。

経営継承する時期は _____ 年 _____ 月頃と考えている。

Q1	事業計画を策定し、中長期的な目標やビジョンを設定して経営をおこなっていますか	☐ はい ☐ いいえ
Q2	後継者に対する教育・育成、人脈や技術などの引継ぎ等の具体的な計画や準備を進めていますか	☐ はい ☐ いいえ
Q3	役員や従業員、取引先など社内外の関係者の理解や協力が得られるよう取り組んでいますか	☐ はい ☐ いいえ
Q4	法務面や税務面、資金面などについて将来の継承を見据えた対策を進めていますか	☐ はい ☐ いいえ
Q5	経営継承の実現に向けて「経営継承計画」を作成していますか	☐ はい ☐ いいえ

「いいえ」という回答があった方

円滑な経営継承を進めていくには、設問に記載したことを計画的に進める必要があります。

設問 2

私には後継候補者【 親族 ・ 従業員 ・ その他 】がいる。

経営継承する時期は _____ 年 _____ 月頃と考えている。

Q1	後継者の正式決定や育成、あなたの退任時期の決定など、計画的な経営継承を進めるために必要な準備の期間は十分にありますか	☐ はい ☐ いいえ
Q2	後継者候補に継承の意向について打診をする時期や、あなたがまだ打診をしていない理由は明確ですか	☐ はい ☐ いいえ

「いいえ」という回答があった方

農業経営の存続に向けて、経営継承に関する具体的な課題の整理や方向性の検討を早急に行う必要があります。